



三ッ石だより

編集・発行

島根あさひ社会復帰促進センター

問い合わせ先

ご意見・ご感想はこちらまで

〒697-0492 浜田市旭町丸原 380-15

TEL0855-45-8171 (庶務課)

平成23 (2011) 年

12/1

第10号

一秒の言葉

「一瞬（いま）を大切に」

島根あさひ社会復帰促進センター

調査官 上田智久



「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に、

一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」

この一秒ほどの言葉に、

人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」

この一秒ほどの言葉で、

勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」

この一秒ほどの言葉で、

幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」

この一秒ほどの言葉に、

人の弱さを見ることがある。

「さようなら」

この一秒ほどの言葉が、

一生の別れにするときがある。

一秒に喜び一秒に泣く

一生懸命に一秒

一九八五年暮れの「ゆく年くる年」で一度だけ放送されたセイコーウオッチのCMで流れた詩です。

この世に生を受け今日に至るまで、私たちは、どれだけこれらの言葉に接して、感動を受けてきたことでしょうか。

未曾有の災害を受けた一年だったからこそ、「一秒という一瞬の時の積み重ねの大切さ」と「一秒の言葉の重みの大切さ」を改めて心に刻み、新年を迎えたいと思います。

施設見学会実施

十一月三日（木、文化の日）にセン

ター開庁後四回目となる施設見学会を実施しました。

当日は、さわやかな秋空の下、浜田市内の方を中心に遠くは、神奈川県から総勢二七六名の方の来訪を頂きました。見学は、二十名を一組として行われ、最初に施設紹介のDVDを視聴した後、刑務官の先導で庁舎や収容棟、訓練室など、普段なかなか立ち入ることのできない施設の中を歩いて見学して頂きました。その後、今回が初めての取り組みとなる、構内を護送車に乗って車窓から馬場や自転車再生工場、農園などを見学して頂きました。また、見学以外にも今回は、AED（心臓救命装置）と刑務作業（石見焼き）の体験コーナーを設け、見るだけでなく実際に体験する場を設けました。

見学された方からは、「刑務所なのに明るい雰囲気になった。」「IT技術を取り入れた万全の警備システムに感心した。」などの感想を述べられました。

今後も、官民協働の刑事施設として、「地域と共生する」を基本理念に、広く地域に開かれた運営を行ってまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

～ 地 産 地 消 ～

グリーンハウスは年3回『島根の日』という日を設け、給食提供で島根県の特産品や島根県で収穫された食材を使用した食事を提供しています。

10月12日に提供した島根の日の食事内容は、島根県沖、浜田産の水カレイの一夜干しに石見和牛のしぐれ煮、デザートには、ここ地元で収穫された、まさに今が旬の旭の赤梨を提供しました。

今後も年3回であります島根県で収穫される地元の特産品を味わい、喜んでもらえれば嬉しいです。



絶好の運動会日和でした

「明日天気になーれ」

九月二六日に行われた運動会の前日、最終準備をしながら関係者の全員が思っていた言葉です。

今回で三回目を迎えたセンターでの運動会ですが、過去二回は雨にたたられ、延期や中断を余儀なくされてきました。「旭の天気は変わりやすい」と言われていますが、その影響を受け続けてきました。

そのため、今回の運動会の日程を決めるに当たっては、過去五年間の天気を調べるなどして、少しでも晴れる確率の高い日を検討しました。実際は、天候だけで日程を決めたわけではありませんでしたが、関係者にとって、運動会当日の天気がどうなるかはずっと心配の種で、毎日晴れてくれと祈り続けていました。

その思いが伝わったのか、当日は絶好の運動会日和に恵まれました。地域の方々もたくさん応援に駆け付けてくださり、訓練生も精一杯競技することができ、盛会のうちに幕を閉じることができました。

「来年も天気になーれ」

少しでも訓練生の思い出に残る有意義な運動会ができるように、今日からまた祈り続けたいと思います。



自転車再生工場の紹介



自転車再生工場ではジョイセフ及び豊島区と連携し、豊島区内で撤去された放置自転車のうち、引き取り手のない良質自転車を点検整備し、再生自転車として発展途上国などへ無償譲渡しています。今年は、5月に東日本大震災の被災地（盛岡市）へ85台、9月にカンボジアへ70台送り届けました。

社会復帰を目前にした訓練生が社会貢献を行うことで、社会復帰教育の締めくくりの一つとして位置づけています。



島根あさひ presents 制服 collection

～ALSOK 編～

第2弾として、ALSOKの冬服について紹介させていただきます。

男女とも紺色の上下で、男性は装備品装着のための帯革（たいかく）を腰につけています。

腕、胸、帽子についている標章はモットーである誠実（太陽）・正確（警戒棒）・強力（鷲）・迅速（月桂樹）を表しています。



文通プログラム 地域参加募集中

旭町にお住まいの方で、月に1回、ペンネーム（匿名）で4ヶ月間、訓練生と手紙のやり取りを行って下さる方を募集しています。

興味がある方はまずお電話を。

社会復帰促進部
電話 45-8197 (直通)
担当 長谷川・竹本

眼科外来診療予定

12月1日(木) 10:00～12:30
平成24年1月12日(木) 10:00～12:30
平成24年2月2日(木) 10:00～12:30
予約・問合せ 0855-45-8166

= 組織紹介 = 矯正処遇部処遇部門

当センターの処遇部門は、処遇首席以下150名です。

主な業務は、訓練室における担当（学校に例えれば学級担任の先生です。）業務、休日や夜間に巡回等を行う昼夜間業務、現場の職員の業務を支える処遇本部での保安事務業務があります。また、ALSOK職員とも連携して業務を行っています。

ふるさとお国自慢 ～山口県

処遇部門
H. T

私のふるさと山口県についていろいろご紹介したいと思います。

まずは下関市です。下関市はフグの水揚げが有名であり、他県からも食べに来る人が多いです。ちなみに、山口では「フグ」とは呼ばず「フク」と呼びます。また、海響館という大型の水族館があります。

次は下関市の北にある豊北町。ここは角島が有名で、毎年夏には透き通ったエメラルドグリーンの海を目当てに多くの遊泳者と見物客でにぎわっています。また、角島大橋は海を渡る無料の橋としては、日本一の大きさを誇ります。きれいな海、直線的に続く橋・・・まるで、この橋の上を走る車が今にも離陸するのではないかと錯覚さえ覚えるほど素敵な光景は、しばしば車のCMに使われます。

3番目は岩国市。釘を1本も使わない特殊な製法で作られた錦帯橋が有名です。最後は県庁所在地である山口市は西の小京都と呼ばれ、瑠璃光寺の五重塔など歴史深い建築物があります。

山口県からは初代内閣総理大臣である伊藤博文を始め多くの総理大臣が生まれています。そんな山口県に生まれ育ったことを光栄に感じます。

皆さんも自然豊かな山口県へ是非一度おいでませ！！



イメージキャラクター 愛称急募

次号登場!!

何かこの三ツ石だよりに足りないのでは・・・そこで、イメージキャラクターを作成してみましたので愛称を募集します。

キャラクターは「熊」にしました。問い合わせ、ご応募は編集委員までご連絡ください。お待ちしております。

応募先：島根あさひ
社会復帰促進センター
三ツ石だより編集委員宛

食べられない範囲でお願いします。(S・K)

くれぐれも、襲われたり、

募してください。

ラクターの愛称募集に応

い。そして、イメージキ

名前を考えてみてください

待ちながら、薄目をあ

をして熊が立ち去るのを

に出会ったら、死んだ振り

にもいられます。今度熊

ターになって。

だよりの中に出没します。

しかもイメージキャラ

した。しかも白昼堂々。

その熊が、今度は三ツ石

学途中に熊に出くわした

という話は聞いていま

んが、先日、センターの

ぐそばで熊が目撃されま

います。

その効果もあつてか、通

ンチリン」と熊鈴を鳴らし

ながら小学生が通学して

にも熊が出るぞー」

「旭にも三ツ石だより

編集後記